

No.205

2025年
2月号

いなざわ 議会だより

TOPICS

12月定例会の報告	2
提言書を作成・提出	3
議決結果	4
質疑・一般質問	5
3月定例会開催予定	12

稲沢市議会

検索



表紙：昨年奉納された国府宮はだか祭の大鏡餅
(あま市奉賛会奉納)

会議結果の報告

12月定例会では、市長提出議案が19件提出されました。議決結果は4ページをご覧ください。
ここでは一般会計補正予算の主な内容等を紹介します。 ※万円未満切り捨て

令和6年12月定例会

12月5日～23日

議案第84号 令和6年度稲沢市一般会計補正予算(第5号)・・・補正額マイナス2億1,670万円
(交付金等の額の確定などに伴う減額補正が、歳出の補正額を上回るため、マイナスとなるものです)
(これにより一般会計予算の総額は、585億7,547万円となりました)

議場ほか音響映像設備改修工事に係る債務負担行為の追加…限度額7,840万円

システムの老朽化に伴う機器更新に係る費用で、本会議のインターネットライブ配信、字幕システム、オンライン委員会を行うための整備などの新機能を含んだ内容となっております。



児童福祉扶助事業の増額計上

児童手当…6,900万円
児童扶養手当…500万円

制度改正と上半期の実績に基づき補正するものです。
制度改正によって、それぞれの手当は次のとおり変更されます。
児童手当…所得制限を撤廃、高校生年代まで支給期間を延長、多子加算について第3子以降に3万円支給、支払月を年3回から年6回に変更。
児童扶養手当…所得制限限度額を引き上げ、第3子以降の多子加算を拡充。

国府宮駅周辺再整備事業に係る繰越明許費の追加…5,000万円

借地解消に係る用地取得費の計上

市役所駐車場用地…1,162万円
奥田駅東自転車等駐車場用地…681万円

決議案を可決

ガザ地区での戦闘は既に1年以上経過しており、長期化する中で、ガザ地区は人道上の危機的な状況にあるため、人質を解放し、人道支援活動が可能な環境が確保されるよう、即時の停戦を求めるとともに、持続可能な停戦に繋がるよう強く期待するといった稲沢市議会の意思を表明するために、「ガザ地区における人道上の危機的状況の改善と速やかな停戦の実現を求める決議」を提出し、全会一致で可決しました。

決議内容の全文は、市ホームページからご覧いただけます。



決議の全文

令和5年度の各会計決算を認定

一般会計歳入決算額…534億3,766万4,078円
一般会計歳出決算額…505億3,997万6,173円

9月定例会で決算特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となっていた9会計の決算に対して、各会派から選出された委員が費用対効果等について質疑を行い、適正に執行されているか審査しました。

各会計決算の詳細は市ホームページでご覧いただけます。

令和5年度の主な事業（一般会計）

- ・ 医療的ケアが必要な児童・生徒の受け入れ体制の整備
- ・ 学校の諸問題に対して法的な助言をいただく、スクールロイヤーの導入
- ・ 「どう使う稲沢デジタル商品券」発行事業の実施
- ・ 肥料価格高騰対策支援事業の実施
- ・ 学校等と連携したひきこもり予防の早期支援強化
- ・ 県の流域下水道へ接続する新たな汚水処理施設の整備推進
- ・ 節目歯科健診の対象に75歳・80歳を追加
- ・ ご当地グルメを開発し、グルメイベントの開催
- ・ 第1・第2分団詰所の移転整備推進



各会計決算の詳細

提言書を作成・提出

決算特別委員会の審査における委員の意見を基に、今後の政策に関する提言をまとめ、議長から市長へ提言書を提出しました。提言書の概要は次のとおりです。なお、全文は市ホームページでご覧いただけます。

1. 選ばれるまちになるための シティプロモーション戦略の 強化について

多様なシティプロモーション事業を有効に利用し、相乗効果を生むことで、市内外の多くの世代の方に、本市の魅力を知っていただき、選ばれるまちになるよう努められたい。

また、厳しい財政の中、健全な財政を維持するために、移住・定住の促進、関係人口や観光誘客の増加などを実現するよう努められたい。

2. 子ども会及び老人クラブに対する 行政支援について

地域や社会情勢の現状を踏まえた柔軟な活動への転換により、会員の減少に歯止めをかける対策を各団体と推進するとともに、公平性を考慮した補助金制度などの行政支援にて、地域の絆や交流、文化継承などの地域コミュニティの維持に努められたい。

3. ごみ減量に対する市民協働について

本市は令和3年9月に「ゼロカーボンシティ宣言」をしたが、脱炭素社会の実現には、市民や事業者との協働が必要不可欠である。

中でも、市民の暮らしから発生する家庭ごみの減量は、身近な活動の一つであるため、正しい分別に基づくリサイクルの推進、拡大に努められたい。

また、中長期計画であるごみ処理の広域化については、市民への丁寧な説明を行い、ごみ減量事業を推進されたい。



提言書全文



市長へ提言書を提出（11月18日）

12月定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議案第77号	稲沢市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決	認定第4号	令和5年度稲沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数認定
議案第78号	稲沢市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	認定第5号	令和5年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致認定
議案第79号	尾張都市計画稲沢下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	認定第6号	令和5年度稲沢市病院事業会計決算認定について	全会一致認定
議案第80号	財産（土地）の処分について	全会一致可決	認定第7号	令和5年度稲沢市水道事業会計決算認定について	全会一致認定
議案第81号	稲沢市公の施設における指定管理者の指定について	賛成多数可決	認定第8号	令和5年度稲沢市公共下水道事業会計決算認定について	全会一致認定
議案第82号	稲沢市道路線の認定について	全会一致可決	認定第9号	令和5年度稲沢市集落排水事業会計決算認定について	全会一致認定
議案第83号	損害賠償の額を定めることについて	全会一致可決	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度稲沢市一般会計補正予算（第4号））	全会一致承認
議案第84号	令和6年度稲沢市一般会計補正予算（第5号）	賛成多数可決	報告第18号	専決処分の報告について	—
議案第85号	令和6年度稲沢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全会一致可決	請願第6号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	賛成少数不採択
議案第86号	令和6年度稲沢市介護保険特別会計補正予算（第2号）	全会一致可決	請願第7号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願	全会一致採択
議案第87号	令和6年度稲沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全会一致可決	請願第8号	大里西地域にコミュニティバスの運行を求める請願	賛成少数不採択
議案第88号	令和6年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致可決	請願第9号	小中学校の大規模改造（空調（冷暖房設備）整備）事業の促進を求める請願	賛成少数不採択
議案第89号	令和6年度稲沢市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致可決	決議案第1号	ガザ地区における人道上的危機的状況の改善と速やかな停戦の実現を求める決議	全会一致可決
議案第90号	令和6年度稲沢市集落排水事業会計補正予算（第1号）	全会一致可決	意見書案第2号	国の私学助成の拡充に関する意見書	全会一致可決
認定第1号	令和5年度稲沢市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数認定	同意案第7号	教育長の任命について	全会一致同意
認定第2号	令和5年度稲沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数認定	同意案第8号	人権擁護委員の推薦について	全会一致同意
認定第3号	令和5年度稲沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数認定	同意案第9号	教育委員会委員の任命について	全会一致同意

賛否が分かれた議案等

議案番号	創生会										市民クラブ							公明党 稲沢市議団		日本共産党 稲沢市議団		会派に 属さない 議員				
	大野紀之	鶴野大助	土岐優子	平床健一	平野賀洋子	杉山太希	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	吉川隆之	木村喜信	六鹿順二	鈴木純子	岡野次男	志智央	木全信明	星野俊次	日比野貴子	朽本敏子	服部俊夫	曾我部博隆	小柳彩子	平野泰弘	山田崇夫
認定第1～4号	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第77号	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第81号	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第84号	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
請願第6,8,9号	欠席	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●

*吉川隆之議員は議長であるため採決に加わりません。

(○は賛成、●は反対)



市政を問う 一般質問

一般質問とは、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限って行われます。

今定例会では、13人の議員が質疑・一般質問を行いました。ここではその質問と答弁の概要をお伝えします。

なお、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧いただけます。

13議員が登場

- | | |
|-----------|-----------|
| ①黒田哲生 議員 | ②朽本敏子 議員 |
| ③平野泰弘 議員 | ④岡野次男 議員 |
| ⑤志智 央 議員 | ⑥山田崇夫 議員 |
| ⑦北村太郎 議員 | ⑧服部俊夫 議員 |
| ⑨小柳彩子 議員 | ⑩平床健一 議員 |
| ⑪曾我部博隆 議員 | ⑫日比野貴子 議員 |
| ⑬木全信明 議員 | ※発言順 |



市長の所信表明 について

創生会
くろだ てつお
黒田 哲生 議員



Q 市長の所信表明で「子育て・教育は稲沢で！」を引き続き掲げているが、3期目においてはどのような点に特に重点を置いて取り組まれるのか。

A 妊娠、出産においては、不妊治療の補助を43歳以上の方にも拡充し、産後お泊りケアを宿泊だと利用しづらい方のために日帰りでも利用できるようにしたいと考えている。また、令和6年4月に開設したこども家庭センターを始めとして、切れ目のない母子保健と児童福祉の相談支援体制を構築していく。

保育分野においては、すべての子どもを保育園全体で包み込み育てていく「インクルーシブ保育」の推進がこれからのインクルーシブな社会を作っていく人を育てることになると考えている。公約に掲げた「誰一人置き去りにしない保育」の中心として、本事業を推進していきたい。

教育分野における学校給食費の無償化は、3期目の市政運営で最も重要視する施策の一つである。子育て支援は喫緊の課題であり、子育てにかかる保護者の経済的な負担を軽減するために、こども未来基金の活用や国の動向を注視しつつ、できるだけ早い時期に実現したいと考えている。

1. 子育て・教育は稲沢で！～まるごといなざわ 子育て応援パッケージ～
2. いつまでも輝く人生100年時代～まるごといなざわ 高齢者応援パッケージ～
3. 充実した都市機能 未来を見据えたまちづくり
4. 頑張る市民と企業を応援 地域経済に賑わいを
5. 魅力いっぱい 選ばれる ヤバいなざわ
6. 将来に渡って安心・安全で暮らし続けられるまち ゼロカーボンシティいなざわ
7. 市民一人ひとりのしあわせが第一 すべての人に寄り添う市役所改革



医療DXについて

公明党稲沢市議団
とちもと としこ
朽本 敏子 議員



Q 国民が全国どこでも最適で良質な医療やケアを受けることが出来る医療DXの施策の1つに「予防接種のデジタル化」があり、国は令和8年6月開始の意向だが、メリットは。

A 市民は予診票を手書きする手間が省け、過去の予防接種記録を参照できるようになる。自治体は医療機関の接種記録と連携され、システムへの入力が必要になり、接種対象者のスマートフォンにデジタル予診票や接種勧奨が通知でき、転出入があった場合でも他自治体での接種記録が閲覧できるようになる。医療機関は過去の接種記録等の確認により誤接

種が防止でき、自治体へ紙の予診票や請求書送付が不要になる。

Q 市民がこの恩恵を受けるにはマイナンバーカード保有の必要があるが、本市の0～4歳の乳幼児と60歳以上の保有率は。

A 令和6年11月末現在の概算で0～4歳は60.1%、60歳以上は81.5%である。

Q 保有率を上げるための取り組みは。

A 1歳未満は令和6年12月2日からマイナンバーカード申請時に顔写真が不要となり、出生届と同時に申請を行うと乳児の来庁も不要となる。この新制度周知のために市内産婦人科病院にパンフレット等を配布している。また、今後も支所、市民センターで定期的に申請窓口を開設する予定で、令和6年10月からは介護施設等への出張申請も開始している。



今後の市民病院運営について

ひらの やすひろ
平野 泰弘 議員



Q 地域包括ケア^(※)を充実させていくには在宅医療が重要である。在宅訪問医療の訪問可能範囲が市民病院を中心に半径16Kmになると、外来患者・入院患者の、ほとんどの居住範囲を網羅できる。病床数を200床未満にし、いわゆる訪問診療を始めることは可能か。

A 200床未満へのダウンサイジングについては、今後の当院の事業運営を考える中で柔軟に対応する必要性を認識している。今年度、200床未満の中小病院で、「地域包括ケア病床」、「在宅医療」、「総合診療」の3

つを混合して、地域の各機関や施設と密接に連携をとり、包括的かつ継続的に患者を支援する「コミュニティホスピタル」という「総合診療」を軸とした地域医療の形を学ぶため、コミュニティホスピタルとして運営されている病床数190床の豊田地域医療センターへ視察に行くなど、情報収集に努めている。なお、訪問診療については、現在当院の中にある訪問看護ステーションの事業が好調であり、高齢者の通院負担の軽減にも寄与することから、訪問診療の実施に向けても院内で協議を進めている。



※地域包括ケア…住み慣れた地域で生活続けるため医療や介護等の生活支援が包括的に確保されること。



地域協働による 美化活動について

市民クラブ
おかの つぎお
岡野 次男 議員



Q 公益社団法人食品容器環境美化協会よりアダプトプログラムの活動団体に対して、毎年、助成が行われている。この制度を活用して、美化活動の仲間を増やしてはどうかと考えるが、交付を受けた団体数は。

A 現在、本市のアダプトプログラムに登録している23団体の中で、同協会の助成を受けたことがあるのは1団体のみである。

Q ごみ拾いの最中に道路の破損や不具合を発見した場合、市に報告することになる。「いなレポ」は写真添付や位置情報で、状態や場所

を明確化できる。報告する側、報告を受ける側共にメリットがある「いなレポ」を有効活用してはどうか。

A 「いなレポ」の活用は有用なので、アダプトプログラムの団体に対しても、「いなレポ」の周知を図っていく。

Q アダプトプログラムの団体が清掃場所にプランターを置いて花を育てたい場合、可能かどうか。

A 道路上にプランター等を設置することは可能であるが、道路管理者からの道路占用許可及び稲沢警察署からの道路使用許可が必要となる。道路占用の許可にあたっては、道路の美化に寄与し、交通の支障にならないなど一定の条件を満たす必要がある。



詳しくはこちらをご覧ください



認知症サポーター について

市民クラブ
しち おう
志智 央 議員



Q 稲沢市の認知症サポーターの数は、県内38市の中で下から2番目となっている。市長の公約である認知症サポーター数の倍増のためには、6,500人の増が必要となるが、そこに至るまでの期間と具体的な方策は。

A 市長の今任期の間に倍増することを目標に、認知症サポーター養成講座の開催回数や定員を増やすほか、学校や企業に協力を求めていく。また、認知症の啓発イベントと併せて実施するなど、様々な方策をとっていきたいと考えている。

Q 会派で岡山県倉敷市の認知症マイスター制度を視察した。これは、認知症サポーター養成講座を受講した方が、地域で実際に支援活動を行うためのステップアップ講座として設けられたものである。地域のボランティアの中心的メンバーの認証制度として、認知症マイスター制度を導入いただきたいが、市の見解は。

A 認知症サポーター養成講座を受けていただいた方は「オレンジリング」で認知症サポーターであることがわかるが、ステップアップ講座を受講した方は現在それを証明するものがないので、認知症マイスター制度を参考に検討していく。

愛知県と稲沢市の比較(令和6年9月末日時点)

	総人口	65歳以上人口	高齢化率	総人口に占める キャラバン・メイト*数と 認知症サポーター数の割合
愛知県	7,500,882人	1,900,781人	25.3%	10.947%
稲沢市	133,592人	37,546人	28.1%	4.860%

*認知症サポーター養成講座の講師役
認知症サポーターキャラバンHPから抜粋



公園のトイレの清掃及び 公園の清掃管理について

やまだ たかお
山田 崇夫 議員



Q 市内の公園にあるトイレについて、週2、3回の清掃がしっかりと行われているのであれば、尿石、黒ずみ、輪じみはできないと考える。清潔が保たれないのであれば、清掃回数を増やす、業者を変更することも検討すべきと考えるがいかがか。

A 地元清掃団体、民間業者及びシルバー人材センター等に清掃を委託しているが、定期的に清掃をしているにも関わらず、汚れがあるということで、いたずら等の温床になりかねないことから、市職員の巡回を強化するとともに、委託先に対し、きめ細やかな清掃に努

めるよう改めて伝える。

Q 地域住民が、公園の清掃協力をしている場所は何か所か。

A 都市公園は全64か所中37か所、児童遊園等は98か所で、すべての児童遊園等で地元団体が無償で清掃を行っている。

Q 清掃協力に対する報酬は。

A 令和5年度の実績で、33団体に対し、総額約1,180万円の委託料を支払っている。



選挙について

創生会
きたむら たろう
北村 太郎 議員



Q 投票所の再編を行ってから、市内で行われる選挙が一巡したが、その評価と遠くなった方への対応策は。

A 令和2年11月に実施した再編の目的は、バリアフリー、土足対応、駐車場の確保、投票所からの距離や人数などの市全体のバランス、公平性、感染症対策であった。投票率が上がった選挙もあり、今後も継続して見守っていく必要がある。投票所が遠くなることへの対応策は、現在、期日前投票所への移動支援としてコミュニティバス・コミュニティバス接続便の無料乗車券の配布を行っている。期

日前投票の投票率が、全体の30%を占めており、移動支援を一層充実させていく。

Q 令和6年11月の衆議院議員総選挙で、アピタウン稲沢の期日前投票所が、「イベント広場」から「映画館前」と変更された。異なる場所での開催の影響は。また、無線通信のセキュリティ及び接続の信頼性は。

A 投票の秘密や選挙の公正を確保できる場所を選定し、変更による混乱のないよう人員配置や店内案内等の対策を実施した。2日間で1,534人が投票をしたが、大きな混乱はなかった。同店のイベント広場で執行した令和3年の衆議院議員総選挙と比較し、219人、約16.65%増加した。Wi-Fi等の信頼性については総務省の通知により専用回線を使用したため、セキュリティは確保されていると考える。



明るい選挙啓発ポスター



介護保険制度の充実 について

日本共産党稲沢市議団
はっとり としお
服部 俊夫 議員



Q 現在の市内の介護施設の数、定員数は。

A 令和5年8月より、住宅型有料老人ホームが1か所増え、定員が51人、軽費老人ホームの定員が5人増えた。本市の介護施設は50施設、定員数2,012人である。

Q 特別養護老人ホームの待機者は、何人か。3月議会では「待機者はおおむね解消される」としていたが、稲沢市として独自に施設をつくる考えはないか。

A 介護老人福祉施設8施設で申込者は延べ402人だが、市外の方や重複申し込みもあり、

実人数はわからない。次期介護保険事業計画を策定する令和8年度に実施される県の調査結果を受けて、介護老人福祉施設の整備が必要かどうか検討していく予定である。

Q 生活保護受給者が入居できる特別養護老人ホームはあるか。

A 生活保護受給者が入所可能な施設は、施設ごとの対応で把握していない。生計困難者等への負担軽減制度事業に協力する施設は第二大和の里、寿敬園、すずの郷、すずの郷西館の4施設である。

Q 年金受給者の平均月額、国民年金56,358円、厚生年金146,145円である。特別養護老人ホームで要介護3の場合、96,360円程かかるが、市として助成制度を設ける考えは。

A 新たな助成制度を設ける考えはない。



いなPAYの検証 および今後について

こやなぎ さやこ
小柳 彩子 議員



Q 「いなPAY」導入後、市民等へのアンケートから分かる経済効果や運用の検証結果は。

A 「いなPAY商品券」アプリ利用者の市民等へのアンケートでは、回答者の61.7%がキャッシュレス決済を便利と評価しており、1円単位で利用できる点についても54.4%が評価している。また、本市の商品券事業においては、大型店やチェーン店以外での消費喚起を促進しており、5,000円の専用ポイントの付与に対し、「いなPAY商品券」では7,298円が飲食・一般店で使用され、より小規模な店舗での消費喚起に効果を上げているものと考えている。

Q 市民税や、証明書等の窓口手数料を「いなPAY」で支払うことは技術的に可能か。

A 「いなPAY」ポイントによる市民税などの市税の収納、手数料の受領については、課題の整理は必要だが、技術的には可能。

Q 「いなPAY」の通年導入は可能か。

A コストの問題はあるが、「いなPAY」による決済を行うことで、現金とは異なり市内での消費に限定され、地域内経済循環を促す効果が期待できる。市長公約「70の約束」において、「いなPAYの積極活用」が掲げられており、今後とも市全体として利用拡大できるよう努める。





中学生の『防災士』取得について

創生会
ひらとこ けんいち
平床 健一 議員



Q 中学生が災害時の自助と共助について学ぶには「防災士」取得が有効であると考えます。岐阜県輪之内町立輪之内中学校では2年生が授業の中で防災を学び、防災士の資格試験を受験して、中学生防災士が誕生しています。また埼玉県戸田市では「戸田市中学生防災士取得支援補助金」があり、支援対象は市内在住の中学生で、保護者を補助対象として、補助金額は防災士資格取得に係る費用38,500円の全額補助である。稲沢市において、市内の中学生が防災士資格を取得する費用に対し補助をすることは可能か。

A 防災士は地域の防災力の担い手として期待されるため、本市で開催している防災リーダー養成講座において、「防災人材育成研修防災・減災カレッジ」での防災士受験資格の取得について周知を行っている。今後については、学校の協力も仰ぎ、防災講座への参加を促すなど、防災に対する意識改革を進めていく中で、取得費用に対する補助も含め検討していく。

災害時の共助の例



学校統廃合について

日本共産党稲沢市議団
そがべ ひろたか
曽我部 博隆 議員



Q 11月17日に行われた稲沢市長選挙をどのように評価しているか。

A 学校再編・統合や土地区画整理事業の見直しを求める声が一定程度示されたものと考えている。

Q 市長の公約である「70の約束」にある「新しい時代の学校づくりプラン」は何をさしているのか。

A 校舎棟の改築や新築の際に、教室の広さやICTなど教育環境の具体的な内容に加え、避難所やまちづくり活動など地域の拠点として

の役割を担う施設としての整備内容について、教職員や保護者、地域住民の意見を取り入れながら学校ごとに策定していく基本構想である。

Q 「学校施設整備基本計画」をどのように進めていくか。また、何をもって地域の「理解と納得」を得たと判断するのか。

A 施設が新しくなるのであれば、再編・統合された場合の課題について検討してみても良いといった意見が一定程度出てきた段階で、「理解と納得」を得たと判断し、地域の方に（仮称）地域協議会の立ち上げに向けた声掛けをさせていただく。また、地域への説明は時間がかかっても丁寧に進めていく考えであるので、「理解と納得」が得られていない段階で、強引に次の段階に進める考えはない。





認知症に寄り添う 「ユマニチュード」 について

公明党稲沢市議団
ひびの たかこ
日比野 貴子 議員



Q ユマニチュードとは、フランス語で「人間らしくある」を意味しており、「見つめる」「話しかける」「触れる」「立ってもらう」の四つが基本で、当事者と介護する家族らの意思疎通をスムーズにして信頼関係を構築するための有効な技法と言われている。稲沢市として「ユマニチュード」の推進についての考えは。

A 「ユマニチュード」は介護の現場から考察された人間らしさとやさしさに基づいた認知症ケアの手法であり、お互いを尊重し、寄り添うことが基本となり、認知症基本法の理念にも沿ったもので、考え方の浸透は必要と考え

る。今後、認知症サポーター養成講座などで「ユマニチュード」の考え方や、認知症の方への接し方など、実践的な内容を紹介していく。

Q 認知症の当事者の方が、認知症の施策の検討に参画する予定はあるか。

A 介護保険事業計画等策定委員会では、被保険者の方が、計画策定に参画できるよう公募することになっているので、次期計画策定時に、認知症当事者の方も参加いただけるよう、関係者への通知も含め、公募の周知を図っていく。



憩いの場の公園 について

市民クラブ
きまた のぶあき
木全 信明 議員

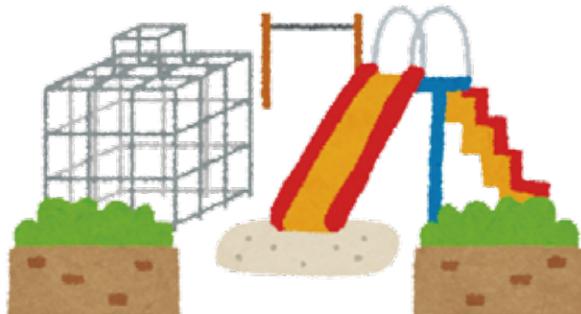


Q 公園の成り立ち等に様々な差が生じている事は理解したが、公園は市民の方の憩いの場であるので、公園の管理に差が生じないよう、公園管理の一元化を図り同一基準ですべての都市公園、児童遊園、ちびっこ広場、地区広場などを管理することを提案したいと思うが、何か支障はあるか。

A 同一基準での公園管理の一元化のご提案をいただいたが、現時点で都市公園の1.5倍超ある児童遊園等を一元管理していくことは、現状の人員的に見ても非常に難しいと考える。

また、整備水準や維持管理の面においても違いのある児童遊園等を都市公園並みの同一基準で管理していくという事は、それだけ多くの財源も必要となってくる。

そのような事から、現状において一元化を図っていくことは困難と思うが、今後、もし一元化にかじを切るという事であれば、公園緑地関係に特化した新たな専門の部署の創設が必要になってくるのではないかと考える。



会議録と本会議の様子を ご覧いただけます

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、図書館や各市民センター内の図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようにしています。

また、会議録と本会議の録画映像は、市のホームページからパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけます。

本会議の録画映像については、右記の二次元コードを読み取り、ご覧いただくことができます。



市議会を傍聴いただけます

本会議の場合

委員会・議員総会
の場合

- ・会議当日市役所
4階で受付
- ・傍聴人受付簿に
氏名を記入
- ・定員50人
(先着順)

- ・会議当日市役所
3階で受付
- ・傍聴人受付簿に
氏名を記入
- ・定員3人程度
(先着順)

車いすの方や聴覚に障害のある方が傍聴できる体制も整えております(要事前連絡)ので、お気軽にお越しください。

その他傍聴に関する詳細についてはホームページをご覧ください。



次回の定例会は 3月5日(水)開会

質疑・一般質問

- ・3月10日(月)
- ・3月11日(火)
- ・3月12日(水)
- ・3月13日(木)(予備日)

常任委員会

- ・3月14日(金)総務委員会
- ・3月17日(月)文教厚生委員会
- ・3月18日(火)経済建設委員会

閉会

- ・3月25日(火)

※各日とも午前9時30分から開会します。日程の詳細は市議会ホームページに掲載しております。傍聴もできますので、お気軽にお越しください。(審議の妨げとならないように、携帯電話の電源を切り、お静かに傍聴していただきますようお願いいたします。)日程は変更する場合がありますので、議会事務局までお問合せください。

次回の議会だよりは令和7年5月発行
予定です。

発行/稲沢市議会
編集/広報広聴委員会
〒492-8269 稲沢市稲府町1
TEL 0587-32-1459 / FAX 0587-32-1124